

原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラム 2021 について

(企画案)

2021.9.1 JAEA/ISCN

1. 概要

原子力機構は、原子力平和利用の推進に不可欠な核不拡散・核セキュリティに関する理解の増進を目的として、毎年、国際フォーラムを開催している。本フォーラムでは、各国の政府関係者や核不拡散・核セキュリティの専門家による、時々の今日的な課題に焦点を当てた講演やパネルディスカッションを通じて、原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る種々の課題や方策について国内外の理解を深めるとともに、我が国及び原子力機構の核不拡散・核セキュリティへの取組を発信している。

今年度の国際フォーラムは、「ポストコロナ時代の核不拡散・核セキュリティ」をテーマに新型コロナウイルスのパンデミック下でどのような課題に直面しどう対処してきたのかを整理し、再びこのような事態を迎えたときにもレジリエントな安全・安心な社会の構築に向けて、良好事例を共有するとともに、我々は何をしていくべきかを議論する。また、このような活動を支える人材の育成についても併せて議論する。

2. 今年度のフォーラムの概要

(1) 開催形態

コロナ禍での新しい生活様式を取り入れて、昨年度に続きウェブオンラインでの開催とする。

(2) 今年度のフォーラムのテーマ

「ポストコロナ時代の核不拡散・核セキュリティ」

(3) 開催日時

2021年12月15日(水) 16:00～18:30(日本時間)

欧州 8:00～10:30 (-8時間)、米国東時間 2:00～4:30 (-14時間)

(4) 学生セッション

12月14日(火) 17:00～19:00

ISCNが講義を提供している国内外の大学等の教員・学生、ISCNにおいて夏期実習やインターンに参加した学生を対象とし、国際フォーラムの前日に学生セッションを開催する。

(5) 国際フォーラム 主なプログラム

開会挨拶(12月15日(水) 16:00～16:10)

児玉 敏雄 JAEA 理事長 (ビデオメッセージを予定) (5分)

文部科学省(調整中) (5分)

Keynote speech (16:10～16:40)

① 保障措置関係者 (IAEA 保障措置局からのスピーチを想定) (15 分)

パンデミック下で保障措置をどのように進めてきたか、どのような課題に直面したか、良好事例はあったか、同様の事態発生に向けて改善していくべき点は何かなど、IAEA の経験につき講演をお願いします。

② 核セキュリティ関係者 (欧米のシンクタンク等からの専門家を想定) (15 分)

パンデミックが核セキュリティ確保 (各国の取組み及び国際協調) の観点でどのような影響を及ぼしたと考えているか、核セキュリティ確保に向けた国際的な動向を評価した上で、核テロのないレジリエントな安全・安心な社会構築に向けて我々は何をしていくべきかなどにつき講演をお願いします。

ISCN からの報告は、事前に国際フォーラムの HP に録画 (日英両方) でアップすることとする。

パネルディスカッション (16:40～18:25)

(タイトル案) : 「ポストコロナ時代の核不拡散・核セキュリティ」

(1) パンデミックによる影響、対応・良好事例 (keynote スピーカー以外)

・保障措置

JSGO : 国内保障措置への影響、どのような対応をとったか

日本以外の国及び地域における保障措置実施関係者: 日本以外の国・地域における影響・対応

・核セキュリティ

コロナによる核セキュリティへの影響をどのように分析したのか

グローバル・リスクの核セキュリティへの影響評価を定期的に行う体制はあるのか

(2) コロナ禍で必要となる技術開発とは

・保障措置、核セキュリティについて各々議論

(3) 全体議論 : ポストコロナに向けての提言、感染症以外の脅威とその対応、人材

育成・確保

・学生セッション代表からのインプット

(パネリスト候補者)

・ JAEA : [モデレーター]

・ 国内保障措置関係者

・ 日本以外の国及び地域における保障措置実施関係者

・ 欧州・米の核セキュリティ関係者

・ 学生セッション代表

閉会挨拶 (18:25～18:30)

大島 JAEA 理事

以上